



# 2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年10月28日  
株式会社トーマンデバイス

## 免責事項



本資料に掲載されている株式会社トーマンデバイスの業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、事業等のリスクや不確実の要因によっては、大きく変化する可能性があります。従って、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断に基づいて行っていただきますようお願い申し上げます。

## I 第2四半期 決算概況

## II 2016年度 見通し及び取り組み

2

# 連結業績サマリー

(単位:百万円)

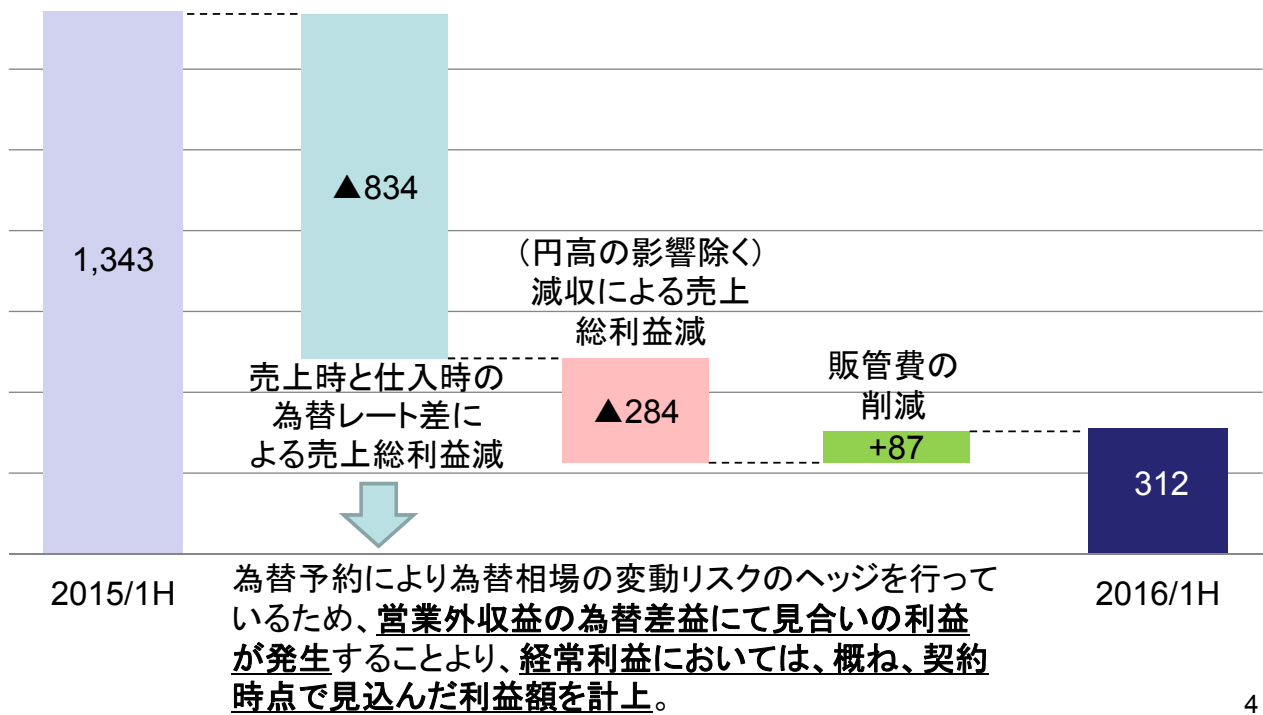
	2015年度 1H	2016年度 1H	増減額	増減比
売上高	102,383	<b>77,192</b>	△25,191	△24.6%
売上総利益	2,450	<b>1,332</b>	△1,118	△45.6%
営業利益	1,343	<b>312</b>	△1,030	△76.7%
経常利益	1,152	<b>1,023</b>	△129	△11.2%
当期純利益	777	<b>735</b>	△41	△5.3%
総資産	67,376	<b>65,568</b>	—	—
純資産	25,215	<b>25,652</b>	—	—
1株当たり純資産(円)	3,695.60	<b>3759.51</b>	—	—
自己資本比率	37.3%	<b>39.0%</b>	—	—

3

# 営業利益増減要因

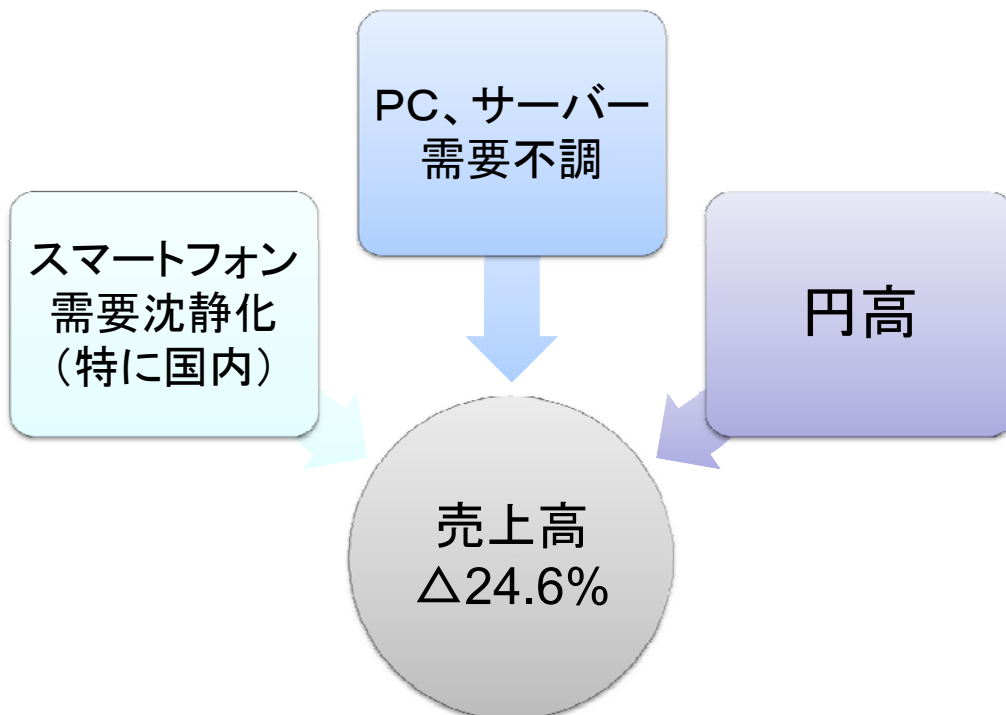
急速に進んだ円高の影響により、売上高営業利益は大きく

(単位:百万円) マイナスだが、経常利益、当期純利益は確保



# 第2四半期決算トピック

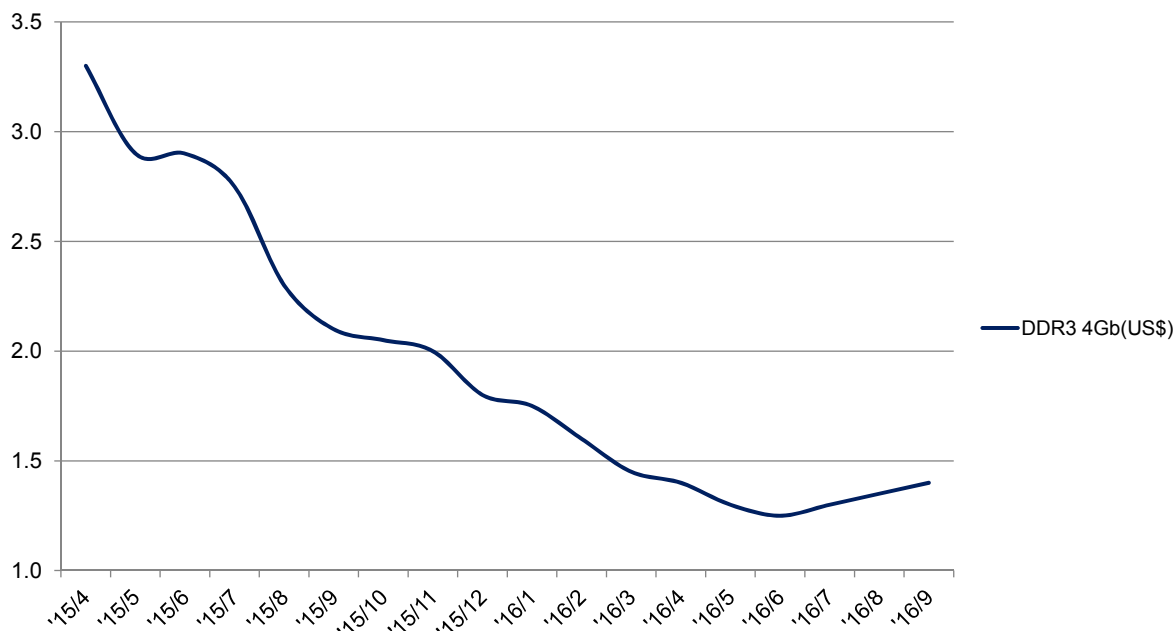
中国でCMOSイメージセンサの拡販を行うものの、厳しい環境の下、減収減益



# DRAM価格推移（'15年4月～'16年9月）



DRAMメーカーの供給調整により、7月から値上がり傾向

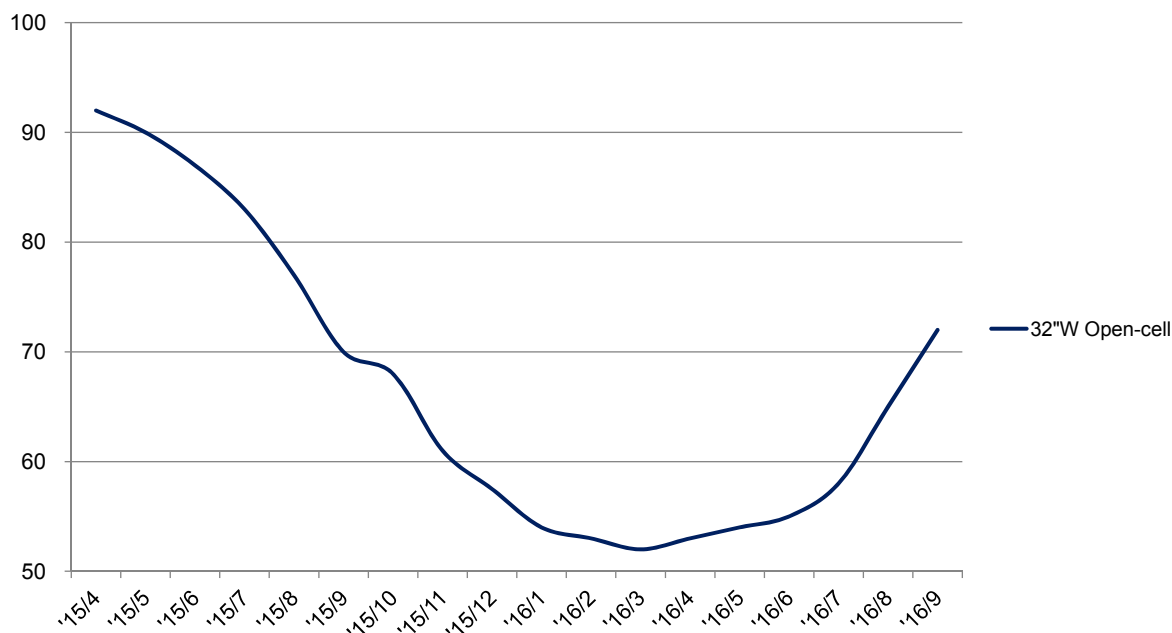


(出所) 各種資料をもとに当社で作成

# 液晶パネル価格推移（'15年4月～'16年9月）



供給調整により、年度初めより価格上昇傾向に



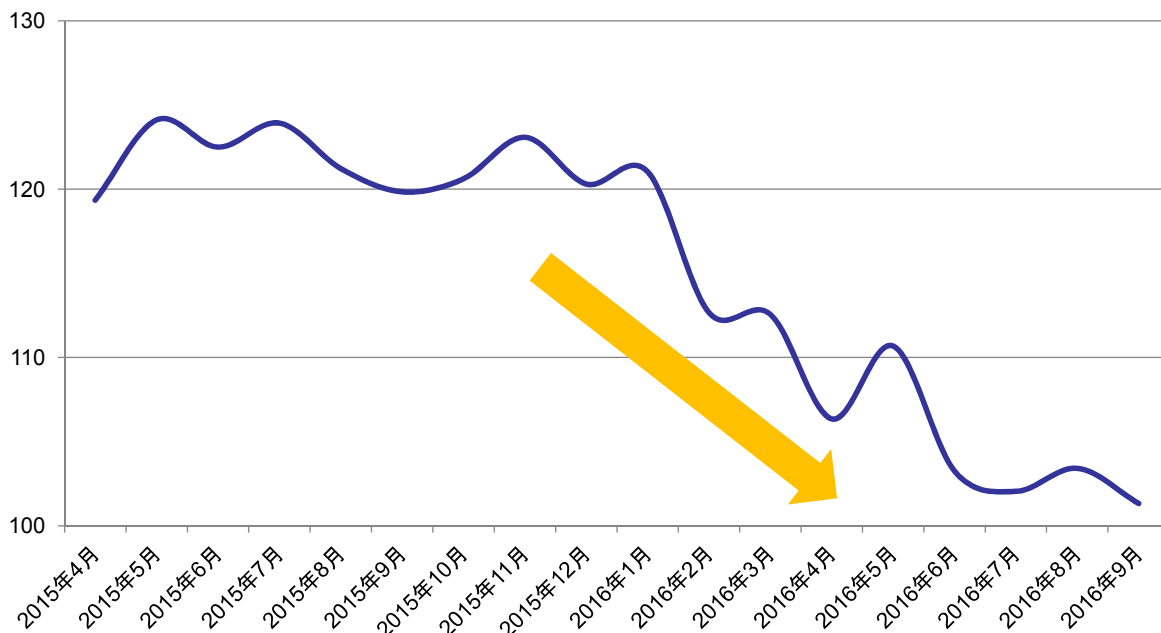
(出所) 各種資料をもとに当社で作成

# 為替レート推移（'15年4月～'16年9月）



## 5月頃から急激な円高へ

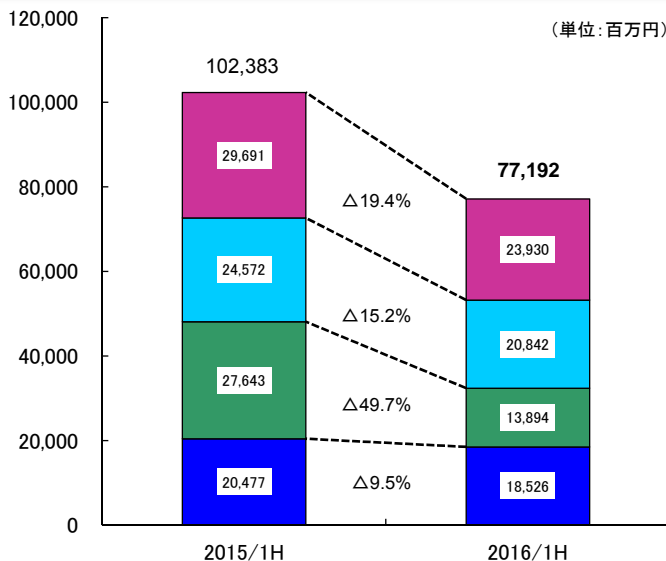
(アメリカドル / 日本円)



# 用途別売上高の構成推移



(単位:百万円)	2015/1H	2016/1H	増減率 対前年比
情報機器	20,477	18,526	△9.5%
デジタル家電	27,643	13,894	△49.7%
移動体通信	24,572	20,842	△15.2%
その他	29,691	23,930	△19.4%
合計	102,383	77,192	△24.6%



■ **情報機器** ■  
 ○2QよりPC向けDRAM価格上昇傾向へ  
 ▼PC需要低迷、サーバービジネスはマイナス

■ **デジタル家電** ■  
 ○4Kテレビ向けメモリー容量の増加  
 ▼中国TV向け液晶パネルビジネス大幅減

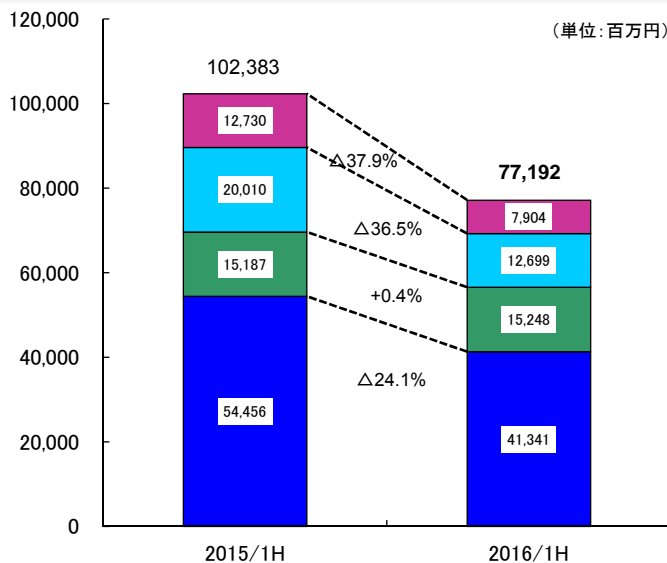
■ **移動体通信** ■  
 ○カメラモジュール向けCMOSイメージセンサ好調  
 ▼スマートフォン向け有機EL・メモリービジネス低迷

■ **その他** ■  
 ○NAND価格回復基調へ、但し供給問題発生  
 ▼USBメモリー、SDカード向けNANDの供給問題発生

# 商品別 売上高推移



(単位:百万円)	2015/1H	2016/1H	増減率 対前年比
メモリー	54,456	41,341	△24.1%
システムLSI	15,187	15,248	+0.4%
液晶	20,010	12,699	△36.5%
その他	12,730	7,904	△37.9%
合計	102,383	77,192	△24.6%



■ **メモリー** ■  
 ○7月以降、DRAM、NAND価格は上昇基調  
 ▼PC、サーバー、携帯及びテレビ向けの需要が低迷

■ **システムLSI** ■  
 ○引き続き中国市場で携帯電話用途向けCISが好調  
 ▼TV、タブレット用途向けDDIの販売伸びず

■ **液晶** ■  
 ○液晶パネル価格が下落傾向から復調  
 ▼TV、モニタ向け需要が低迷。

■ **その他** ■  
 ○照明ビジネスが軌道に乗り始める  
 ▼スマートフォン用有機EL、バックライト用LED共に不振

# 本日の内容



I 第2四半期 決算概況

II 2016年度 見通し及び取り組み

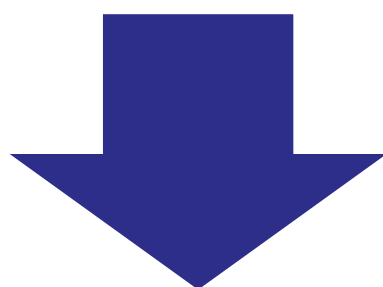
	15年度実績	当初計画	修正計画	対前期増減	前期比
売上高	189,372	170,000	<b>145,000</b>	△44,372	△23.4%
営業利益	1,907	1,800	<b>1,100</b>	△807	△42.3%
経常利益	1,779	1,400	<b>1,400</b>	△379	△21.3%
当期純利益	1,177	1,000	<b>1,000</b>	△177	△15.1%
1株当たり 当期純利益(円)	173.14	147.03	<b>147.03</b>	—	—
1株当たり 配当金(円)	50	50	<b>50</b>	0	0.0%
配当性向	28.9%	34.0%	<b>34.0%</b>	—	—

※ 当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

12

## 業績予想の修正

売上高、営業利益は修正。但し、  
経常利益、当期純利益は維持



国内ビジネスの低迷、メモリーの供給  
問題、急速な円高などによる影響

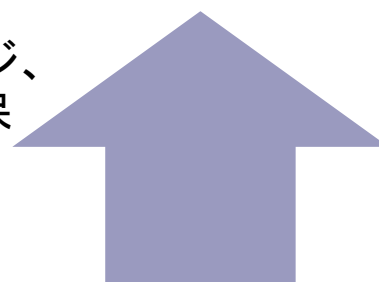
売上高**145,000**百万円(▲25,000百万円)

営業利益**1,100**百万円(▲700百万円)

確実な為替予約によるリスクヘッジ、  
経費削減努力などによる利益確保

経常利益**1,400**百万円(±0百万円)

当期純利益**1,000**百万円(±0百万円)



( )は対当初計画

13

## Positive

- DRAM等、価格の下落傾向に歯止め
- データセンター等の構造的な需要拡大、スマホの高機能化によるメモリー関連の需要増加
- 液晶大型パネル、メモリーの価格は上昇基調
- サムスンの3D-NANDが好調。増産ペースを加速

## Negative

- 半導体、電子部品市場をけん引する新規有望アプリケーションは出現せず。総じて市場環境に明るい展望見えず
- 4K対応コンテンツ不足により、4Kテレビの普及進まず
- スマートフォン端末メーカーの二極化更に加速。日系メーカーは苦境、中国系は群雄割拠状態へ
- メモリーの供給問題

## 物量の確保

- タイト感が強まる中、物量の確保とシェアの維持拡大

## 新規市場の開拓

- 引き続き車載、エンタープライズSSD、IoT等、新規市場の調査、種まきを継続

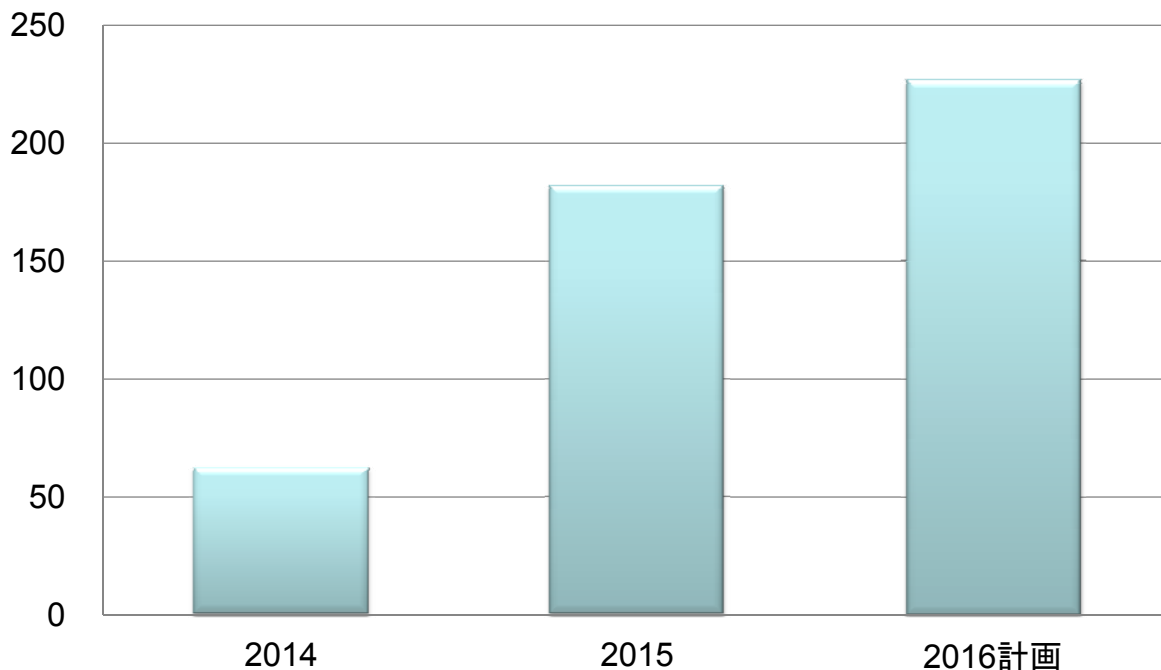


# 中国モジュールメーカー向け CMOSイメージセンサー売上計画

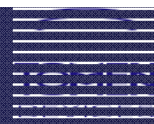


今年度も引き続き拡販を目指す

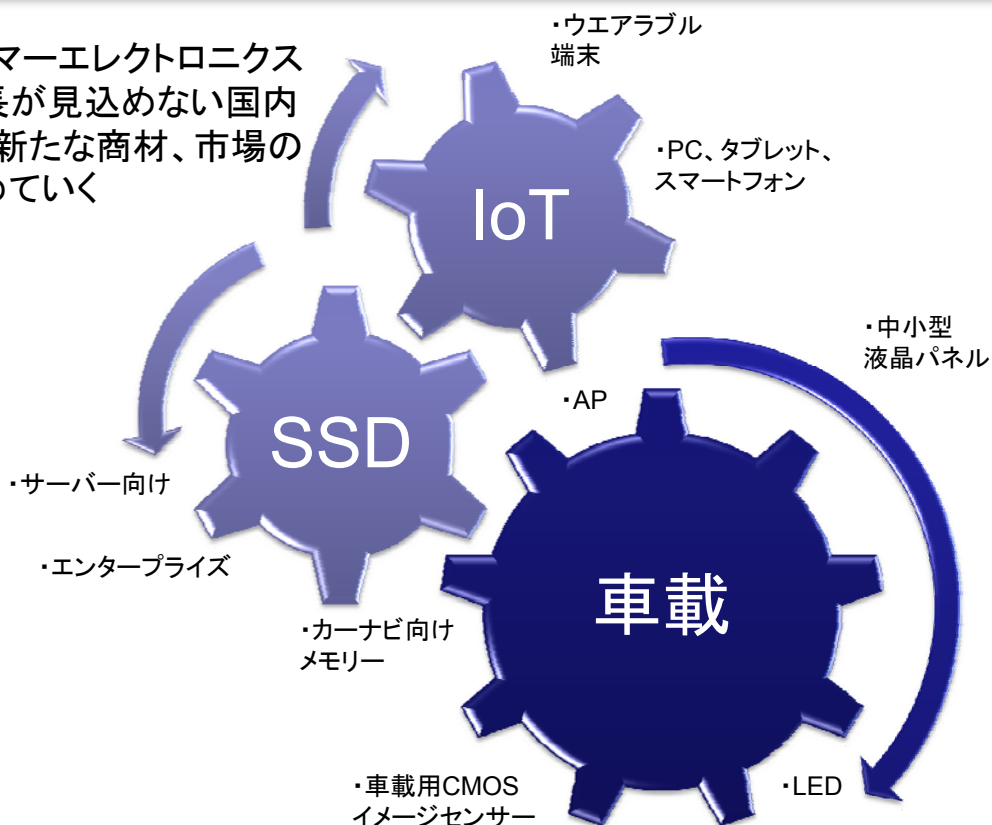
(単位:億円)



## 新たな国内市場の開拓

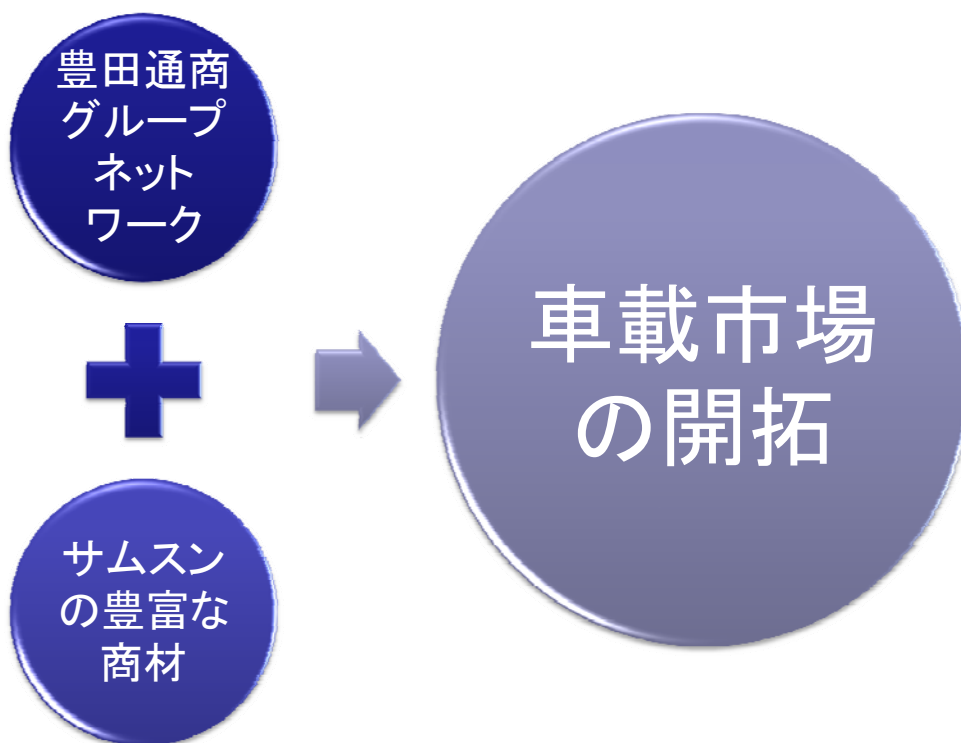
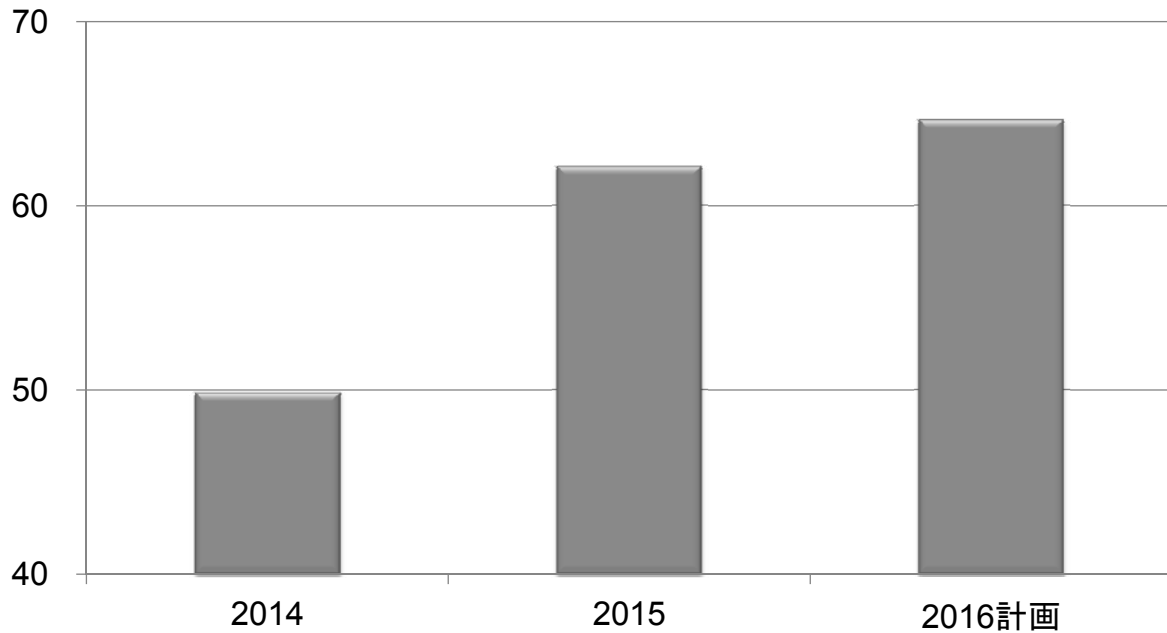


コンシューマーエレクトロニクス分野で成長が見込めない国内において、新たな商材、市場の開拓を進めていく



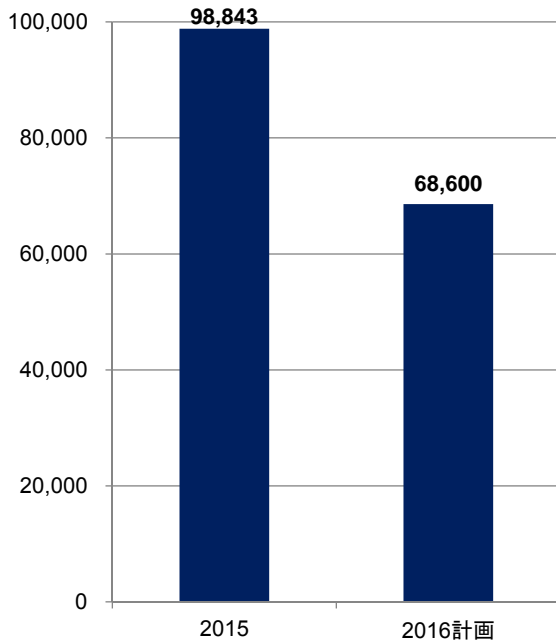
PC、サーバー、エンタープライズ等、  
様々な用途向けに販売促進

(単位: 億円)



# メモリー分野

(単位:百万円)



## DRAM

- ・供給が絞られる中、物量の確保に注力

## NAND

- ・物量の確保

## SSD

- ・エンタープライズ向けビジネス拡大

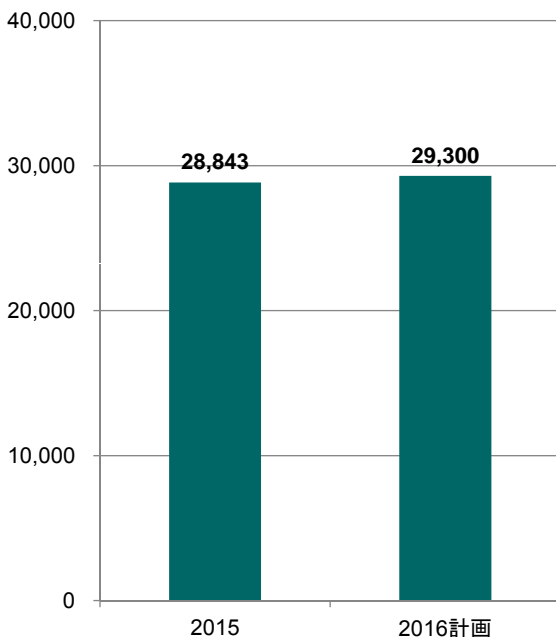
## メモリー全体

- ・デジタル家電、サーバー向けが伸び悩む中、車載等の新規市場の開拓を進める

20

# システムLSI分野

(単位:百万円)



## DDI

- ・テレビ、タブレット向けのシェアを維持

## CIS

- ・中国市場でカメラモジュール向けの拡販を継続

## AP

- ・スマートフォン以外の市場を開拓(ウェアラブル等)

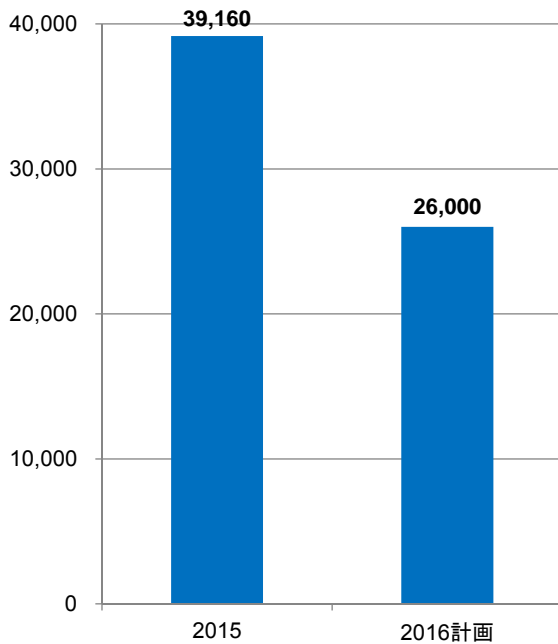
## システムLSI全体

- ・IoT機器向けに拡販

21

# LCD分野

(単位:百万円)



## モニタ

- ・ 供給力、対応力強化により、シェアを維持

## デジタルサイネージ

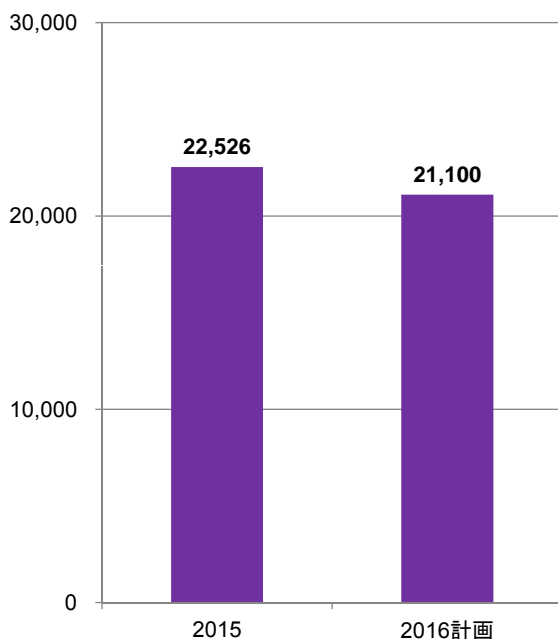
- ・ 東京オリンピック開催に向けた需要への対応
- ・ 鉄道、バスの広告向けにHalf-LCDを提案

## TV

- ・ 4K・大型に対応した液晶パネルを揃え、中国市場で拡販

# その他

(単位:百万円)



## 有機EL

- ・ ゼネコン等、家電以外向けに透明有機ELを提案
- ・ カーナビ向けにプロモーション

## LED

- ・ 照明など、新規顧客及び市場の開拓と取扱い商材の拡充

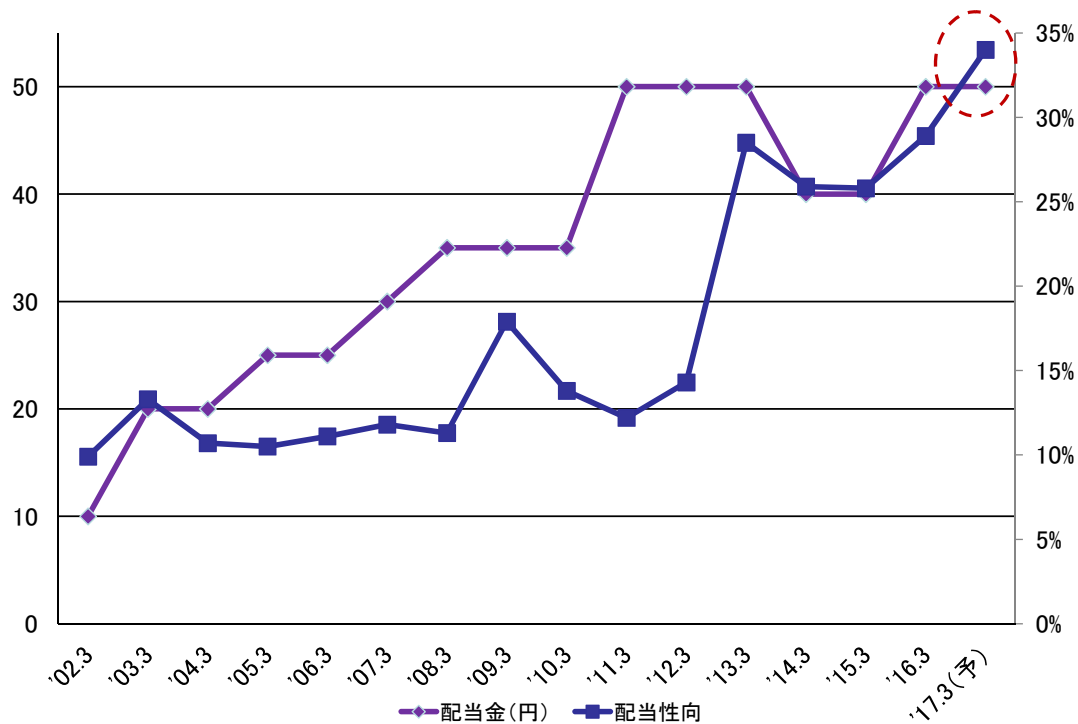
## 全体

- ・ 携帯・タブレット向けのシェア維持。車載を含めたBtoBへプロモーション

# (ご参考) 配当計画 (1株当たり)

## 減収減益となるが、配当額は維持

(単位: 円)



ご清聴ありがとうございました

